

シーケンシャル

S15

シルビア



関西のサーキット本気組ショップ、シーケンシャルが本腰を入れて製作中なのがブラックイリュージョンSF-X15だ。コレは岡山国際サーキットを1分33秒台、セントラルを1分19秒台達成を目指している。しかし今回は残念ながらエアロの発表のみ。完成が待ち遠しい

Vファクトリー

C35

ローレル

RB25エンジンが搭載されるFRマシンとして注目されつつあるのがC35。どうせならRB26積んじゃおうってことでVファクトリーが製作したマシンなのだ！ ノーマルでもパワフルなエンジンなのだが、コイツはさらにトラストでも最大級のT88タービンを組み合わせているのもミソ



TC-KOBE

FD3S

RX-7



テクニカルカレッジ神戸の学生が製作したFDは、ガルススタイルとなっているのが注目すべきところ。オリジナルのペイントでスポコン風味ではあるものの、エンジンはブーストアップで350psを発生していて、シッカリ走るってのもアピールしておきたいポイントだろう



プライベートガレージ・トリック

S14

シルビア

青龍というネーミングも勇ましいS14シルビアは、プライベートガレージ・トリックのドリ車。エンジンはS13のSRを搭載し、K3-450タービンで480psを発生するという。迫力の前後ワンオフプリスターボディに、ガルススタイルと最近の定番的な仕上がりをみせる



D-DRUG

S13

シルビア



D-DRUGのシルビアはボンネットに注目したい。ファイバーとゲルコートの間プリントした生地を挟み込むといった特殊な手法で製作されているのが特徴。コレはちょっとブレイクしちゃうような予感大って感じだ！ ちなみに車名はエロピア(?)となっているゾ!

D-DRUGのブースでもうひとつ注目したいアイテムといえるのがオリジナルの別タンク式スーパー車高調。別タンクにすることでストロークをたっぷり取ったダンパーと同様の効果が期待でき、減衰もきめ細かい乗り心地になるという。セッティングにも有利な構造なんだよ

プライベートガレージ・トリック

S13

シルビア



S13ボディにマークXのヘッドライト、S15テールなどをスワップして正体不明(?)の怪しさを演出するトリック。玄武と名付けられたこのシルビアは、なに気にGT3037Sタービンを装着するドリフト仕様なのだ！ コレなら見た目のパフォーマンスも満点に違いない



大阪オートメッセ 2005

YVブースにきてくれたみんな、サンキュー！ ここからは大阪オートメッセの会場で見つけたYV的なにわなチューニングカーを一気にチェックしていこう。カリカリのサーキットタイムアタック仕様から魅せるドリフトマシンまで、とにかくいろんなマシンが大集合！ ライブな大阪を感じられる、なにわのチューニングマシンをとくにご覧あれ！！

Photo: 川澄智史

なにわのチューニングマシンが勢揃い！！

サウンドキッチンif

GDB

インプレッサ



関西のオーディオスペシャルショップのサウンドキッチンifが製作したインプレッサ。見た目はフルケン・カラーでバリバリのサーキット仕様といった印象だが、ケンウッドのオーディオシステムもフルに搭載するサウンドマシンでもあるぞ！ その名のとおり「もしも」を実現している

スーパーオートボックス京都伏見

ER34

スカイライン



SA京都伏見から出展されていたのは'05年仕様のD1参戦マシン。ベースがR34とは思えないほどのGT-R度も強烈なインパクト。インクラヤラジエーターが後ろにオフセットされているのもクラッシュのダメージを低減させる実戦から生まれたアイデア。お台場から投入される予定



スーパーオートボックス姫路

S14

シルビア



ドリフト仕様を、走りの性能だけではなく、インテリアまで含めたトータルなカスタマイズで表現したSA姫路のDRIFTING 240SX。海外のパーツも多用することでありがちなドリフト仕様からの脱却を目指しているのもポイント。楽しくカッコいいを提案するマシンだ



スーパーオートボックス SPORT

GDB

インプレッサ



SAスポーツのGDBインプレッサは、HKSとのコラボレートで安心できるブーストアップを目指した「BB TUNE」テストカー。吸気系ではエアクリ/サクシオンパイプ、排気系ではタービンアウトレット/フロントパイプ/触媒などが「BB TUNE」仕様となっている